

今年も、証券業界には、干支にちなんで「申酉（さるとり）騒ぐ」という相場格言があります。申年と酉年は株価の上下が激しく値動きの荒い年になることを意味しています。昨年は6月に実施されたイギリスの欧州連合（EU）離脱是非を問う国民投票における離脱派の勝利、11月の米大統領選でトランプ氏が勝利するなど「想定外」が相次ぎ、格言通り相場が乱高下する年になりました。今年の株式市場も、昨年以上に「大騒ぎ」となる材料が揃っていると言われていました。また、過去の歴史を紐解くと、酉年には大きな自然災害が起きています。地震に至っては、88%の確率でM7レベルの地震が発生しているほど巨大地震のリスクが高い干支になります。今年も、どんな年になるのか目が離せません。

さて、同じトリでも、鳥インフルエンザの話題をとり挙げます。昨年、ジカウイルスのニュースが下火になりかけると同時に、今度はノロやインフルエンザのニュースが多くなって来ました。国内でも11月頃からH5N6型の鳥インフルエンザが、多くの家きんに感染し大量処分されるという事態が起きています。韓国や中国でも鳥インフルエンザの感染が拡大し、過去最大の家きん類の殺処分が実施されたと報道されています。何故、毎回こんなに大騒ぎするのか不思議に感じている方も多いと思います。まず、その理由から解説致します。

よく、H1N1型とかH5N1型とか訳のわからない記号が出て来ますが、そもそもこの記号は何の意味があるかということ、これは、インフルエンザウイルスの種類を示すものなのです。インフルエンザウイルスには、A、B、Cの3つの型があります。毎年「流行」を起こすのはA型とB型で、中でも大流行を起こすのはA型です。さらに、このA型ウイルスは、ウイルス表面にある糖タンパク質の構造により、HA（ヘマグルチニン）とNA（ノイラミニダーゼ）という突起の組み合わせの違いによって「亜型」に分類されます。さらに、HAは16種類、NAは9種類ありますので、その組み合わせは、16×9＝144種類になります。例えば、H1N1型というのは、HAが1型、NAが1型という組み合わせの突起をもったインフルエンザウイルスということになります。2009年に世界的に大流行（パンデミック）したインフルエンザウイルスは、H1N1亜型の新型インフルエンザウイルスで、この時は豚の間で流行していたウイルスが、農場などで豚から人に直接感染し、それから人の間で広まったとされるため、「豚インフルエンザウイルス」とも言われていました。幸い、このH1N1亜型のウイルスは、毒性が低いため、パンデミックが起きても、それほど大問題にはなりません。しかし、2004年頃から流行し始めたHA（ヘマグルチニン）が5型のタイプのウイルスは、「高病原性」とか「強毒性」とか称されるように、非常に毒性の高いウイルスになります。実際、H5型のウイルスに感染した鶏は、H1型の場合は、鶏にとっても弱毒であるため死にません。このH5型のウイルスが、鶏から人に感染した場合、感染した人は全身感染、多臓器不全、重症肺炎などを起こし、半数以上は死亡しています。インフルエンザウイルスは、感染を繰り返す中で、短時間で進化し、どんどん変異して行くため、鳥の間で感染を繰り返すうちに、小動物や豚、人に感染するように遺伝子が増え、人に感染したウイルスは、人から人に感染するように変異を繰り返します。やがて、それが広まり新型ウイルスとしてパンデミックを起します。但し、強毒性のウイルスは、人をも重篤化するため、感染した人は行動が制限され（寝込んで動けない）、ウイルスを撒き散らし難い状況になるため、今のところH5型でのパンデミックは抑えられています。それでも、2008年には、H5N1型強毒性インフルエンザウイルスのパンデミックが起るフェーズ6段階中、「3」まで達しました。暫く、鳴りを潜めていたH5型のウイルスが、H5N6型（現在、アジアで流行）、H5N8型（現在、欧州で流行）となって、再び出現して来ました。現在、韓国では、H5N6型インフルエンザウイルスが養鶏業を全滅する勢いで拡大しています。また、韓国では猫が感染死、中国では人にも感染して死亡者が出ています。

1918年にパンデミックが起きた「スペイン・インフルエンザ（H1N1型）」では、当時の世界人口18億人中、5億人が感染し、1億人が死亡したという記録が残っています。その次のパンデミックは、1957年の「アジア・インフルエンザ（H2N2型）」で、同じく29億人中、200万人が死亡、1968年の「香港・インフルエンザ（H3N2型）」では、35億人中、100万人が死亡、2009年の「新型インフルエンザ（H1N1型）」では、69億人中、1.5万人が死亡しました。この2009年のパンデミックは、毎年流行する季節性のインフルエンザ並みか、それ以下の死亡率です。これら過去にパンデミックを起した4つのウイルスは、全て「弱毒性」のウイルスです。今回、感染が広がっているインフルエンザウイルス（H5N6型）は、「強毒性」であり、我々人類は未だ嘗て経験をしていません。もし、このような強毒性のインフルエンザウイルスが人に感染するように変異し、パンデミックを起したら、想像もつかないほどの深刻な事態になることは間違いありません。それも、世界同時多発的に起こるので他県、他国からの救援は期待出来ません。これが、局地的に起こる大地震や津波被害と大きく異なる点です。

以上が、現在、鶏を殺処分するために大騒ぎしている理由です。新型ウイルス出現の可能性を封じ込めることが目的なのです。**★ここで、超「ハナタカ」情報を！** カモは全てのHAとNAの亜型（H1～H16、N1～N9）のウイルス144種類を保持しています。カモはインフルエンザウイルスに経口感染し、症状を示さないうまま、大腸で増殖したウイルスを糞便と共に排泄します。カモは渡り鳥ですから、ウイルスで汚染された糞便をばらまきながら移動を続け、カモによって汚染された池の近くでアヒルや鶉が飼われていると、それら家きんに感染し、やがて豚や人に感染するウイルスに変異して新型インフルエンザウイルスが誕生します。カモが背負って来るのは、葱だけじゃなかったんですね。

T O M O K O O ' S R E C O M M E N D

明けましておめでとうございます。本年度もよろしくお祈り致します。去年から私が一番楽しみにしていたアルバムが「The xx」の「See You」です。前作「Coexist」が全英1位、全米5位を獲得し、過去2作品の総売上は300万枚を超えるなど世界的ブレイクを果たした、サウス・ロンドン出身のドラムレスな男女混合3人組。約4年半振りにリリースする今作は内向的でメランコリックなサウンドから、よりオープンかつ幅広いサウンドにアプローチし、大きく飛躍を遂げたバンド史上最高傑作といえる作品。とインフォメーションされていますが、先行曲を聴く限り確かに今までは異なるサウンドで大きな変貌を遂げているように思います。先行シングル「On Hold」を聞いた時の喜びが、今日まで続いていて何回リピートしたか分からないくらい。（ホール&オーツがサンプリングされているようです。）どちらかと言うと2015年にリリースされたメンバーのJamie xxのソロ作品（メチャクチャ最高なので合わせてオススメ）に近くダンス・ミュージックの要素が強い。過去2作品より万人受けする聞きやすいアルバムになっています。Pitchforkが選ぶ「2017年最も興奮させるアルバム32枚」にも入っていますよ◎



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテイメント情報を随時UP!!

皆様の いいね！ をお待ちしております。

facebook adproject



もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>



2017
vol.056

1

Legend



心機一転

ゼネラルプロデューサー
檜垣 俊幸

新春、あけましておめでとうございます。激動の時代が再び予測される中で、世界のパラダイムが変る時代への幕開けでもあります。従来のパワーバランスも変わり、宗教、国家概念、経済構造や哲学意識や情報環境が、これほど大きく変わりゆく、「時代の変わり目」であり、大きく変わる時代の到来を感じたのは私だけでしょうか？ハードもソフトも、総入れ替わりです。「先の見えない変わり目」とでもいうべき期待と不安が訪れます。弊社も、この変化に負けない独自の世界ネットワーク情報とヤリガイ情報と企業活性化情報を提供し「夢の作り直し」のお手伝いをいたします。「心機一転」ポジティブ活動をよろしくお祈り申し上げます。

2017年 元旦

代表取締役 GP 檜垣俊幸



adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

■ 21世紀の挑戦時代到来

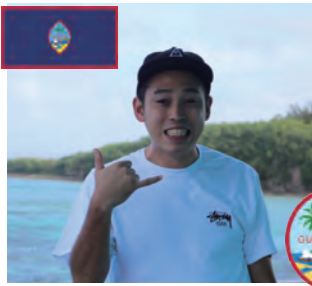
心を入れ替えて、より快い環境を変える事がポジティブ人間としては正しい理解でしょう。A | 社会の発達には、真に有意義な社会を形成するのでしょうか？また、これらのロボット社会は、より良い環境の社会を作り出すのでしょうか？さらに、より良い社会とは、どんな社会なのでしょうか？米国のトランプ新大統領の様に不思議で予測不可能なのでしょうか？宗教、文化、価値観、貧富差など先進国と途上国とあまりにも異なる民族、国家資質の異なるものが、一つの星に仲良く共存共栄する事が可能なのか？この星をシビルコントロールする「神」は本当に存在するのかと、祈る事しか答えが出な無かったのは、酉年早春の所為であろうか？いずれにしても、万全を期す事しかないであろう。それは、従来の手順や手法ではなく、生み出す力を蓄え、新しい価値を模索し、新しい力で創造する事です。「全てを変えよ！」これが、酉年に備える弊社のキーワードです。変わぬ事は死を意味します。生死の法則であり、当然な節理なのです。

■ リズムもテンポも進化する時代

スマホやタブレットPCなどの普及により、社会全体のスピードが早くなり、民放テレビのごとく秒単位のサイクルで、場面が変わる生活が普通になってきました。確かに平安時代と比べれば、挨拶でさえも早くなっています。また、結論を先に言う事が報告スタイルになっています。マスコミの見出しタイトル重視の販売主義の所為でしょうか？その所為か、結論重視のコミュニケーション成果が求められています。音楽などもリズム中心の編曲重視となっています。アンサンブルやメロディなど楽しんでると遅れをとりません。私達の楽しんできた環境は、祖父や祖母の時代のゆったりとした味わいのある優しさ重視の文化だった様に思われます。それが、「戦後背景の昭和の日々」だったように思いますが、それでも、祖父や祖母は「忙しい日々になって付いて行けないわ」が口癖だった様に思います。戦後の競争社会が作った社会システムの結果でしょうか。これも、進化と呼ぶのでしょうか？私達の終わりなき旅は、何処へ向かっていのでしょうか。そして風景に合わせた環境を創造する事を進化と呼ぶ事なのでしょうか。この摩訶不思議な空間にいるのが私達なのです。新春に自分達の存在について再確認をする事もいいでしょう。毎日考えると気が変になりますから。

■ 「時間」「安全」そして「快楽」へ

時間という概念を生み出した人類は、今また時間を作り出そうとしている21世紀である。便利とは時短への挑戦である。それは、効率の良さと言う知的理解と手法によって、「時間を食う」から「時間をかけない」「自動作業」「ロボットにやらせる」など、自分の時間に掛かる作業を外注、自動化する事によって、時間を取り戻す事に気付いたのでしょうか。今日の仕事もそうです。作業は仕事と呼びません。時間を取り戻すシステム開発を仕事と呼びます。本来、仕事とは楽しいものです。取り戻した時間はポジティブに仲間を誘って楽しみに使いましょ。勉強もそうでありたかったですね。そのうちできるでしょう。自動勉強器などがね。そして、常に安全に対する様々な対策が生存基本アイテムになります。これは認知、対策、救助、防御など様々なスキルを必要とします。トヨタグループの初めてのロボレーション事業なども、これらの一つと呼べます。情報は空に浮かんでいる時代です。空からどんな情報を受信し、様々な情報をソフト処理し、ロボレーションして価値情報に変え、いかに楽しい情報にするかが次への課題かも知れません。大いに楽しみましょ、21世紀生活。その為のポジティブな思考と発想を推進し、今年もadprojectは楽しい会社です。



秋葉 悠介

- Event : はじめてのグアム
- Date : 12月21日
- Place : GUAM

新年明けましておめでとうございます。
年末の忙しい時期、本当は行く予定ではなかったのですが…
ほぼ強行で海外旅行に行ってきました。4年ぶりの海外、社会人になったら絶対にリゾート地に行く決めていたので、今回はお金もあまり掛からず、時差もほとんど無く、Wi-Fiをレンタルすれば最悪あっちでも仕事が出来るグアムにしました。(本当にあっちで仕事してました。泣)
今回は、はじめてのグアムでおすすめの場所をご紹介します。



■ タモンビーチ
中心地にあるビーチ



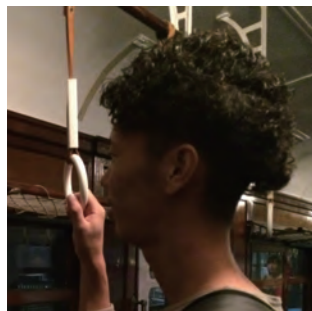
■ グアム No.1 ハンバーガーショップ「Merskla Dos」
ランチに迷ったら、ココがおすすめです。
美味い・早い・デカイの三拍子。



■ 予約必須のレストラン「Tony Roma's」
アメリカで最もポピュラーな料理として広く親しまれ、根強い人気を持つバーベキュー・リブが楽しめます。お値段ちょっと高めです…。



■ ビーチフロントレストラン「The Beach」
目の前にビーチという絶好のロケーションで、夜は食事しながら大迫力のファイヤーダンスショーが楽しめます。個人的には、グアム1番のおすすめスポットです。観光スポットでありながら、どこかローカル感も味わえるリフレッシュするにはもってこいの空間です。グアムに行く際は、是非行ってみてください。



前山 稜

- Event : 新年!
- Date : 1/1
- Place : 浅草

2017年! あけましておめでとうございます。

「オーソドックスなお正月」
皆さまお正月はいかがでしたでしょうか。
飲みましたか? 食べましたか? 遊びましたか?
ここ数年、落ち着いた正月を過ごせていなかったのが、定番のお正月がしたい! が、私のテーマでした。笑
笑紅白を見ながら年越しうどんを食べ、カウントダウンイベントに参加し、初詣。
なんてすばらしいプランだと思いつきながら、初浅草へ行ってきました。

見渡す限り人、人!人!!
あの遠くに見える小さな提灯は、焼き鳥屋さんですか?
いいえ、あれが入口です。遠いから小さく見えますが、本当は大きいのです。
並び過ぎでしょ…とは思いますが、初めましての人とも生まれる年越しの
良くわからない一体感。好きです。笑
そんなこんなで、ワイワイしながらいざ参拝。いざ願おうと思うと、何を願えばいいのかわからないものです… (今年も健康に過ごせますように。)

人ごみに流されるがままに、引いたおみくじは『凶』でした。
別にくやくしねーし。と思いつきながら、並びなおして引いたおみくじも『凶』でした。
マイナス×マイナスはプラス!
2017年、さらにポジティブに励んでまいります!

本年もよろしくお願いいたします。

Project 1.

コラ
EXECUTIVE PRODUCER : 松延 智明

「酒の一滴は血の一滴」。この言葉、聞いたことはありますか? お酒好きのかたは、言ったこともあるかもしれません。さてこのフレーズ、また、1937年、第一次近衛内閣が行った国民精神総動員という政策・活動の戦時標語が元になっているという説があります。長引く戦争で物資不足が懸念されていた当時、国民精神総動員は、「国家のために自己を犠牲にして尽くす国民の精神を推進する運動」として展開され、「欲しがりません、勝つまでは」「ぜいたくは敵だ!」「足らぬ足らぬは工夫が足らぬ」などの標語で国民の戦意を高揚していました。その中の一つである「石油(ガソリン)の一滴、血の一滴」は、戦時中に大変に貴重であった石油を大切に扱うよう、啓発のために作られたものです。ちなみに、1917年、第一次世界大戦でドイツの猛攻にあったフランスの首相が、米大統領に宛てた電報に「石油の一滴は血の一滴に値する」という言葉が記されたという話もあります。これが標語の元なのかもしれません。戦争が終わり、平和になって、この言葉を知っている誰かが酒を酌み交わしながら、初めて「酒の一滴は血の一滴」と笑顔で言った場面を思うと、なんだか切なくなります。ということで、今日も一滴も残さず、お酒を飲もうぞ! (でも、ほどほどに…)

adproject 2017の姿勢
PRESIDENT : 檜垣 俊吾

2016年を振り返ると、国内の景気は一部で明るい兆しは伺えたものの、将来に対する不安などを払拭するまでには至らず、世界の政治も経済もそして広告業界も大きな変化が起きた年でした。2017年はどんな年になるでしょうか。メディアなどは米国新大統領トランプ氏の動向が良くも悪くも全世界に影響を与え続けるとみられていますが、だからこそ、クライアントのニーズと社会の課題を、よりしっかりと捉えて対応し、プロフェッショナルとして、ぶれない仕事を着実に続けることで、新たな価値を提供できる数多くのチャンスを見出せていると思います。先行き不透明なこのタイミングは、チャンスの一つでもあります。そして、今年の干支は「酉」です。社員全員が大きな翼を広げ、まだ見たこともない高みを目指して飛び、あっと驚かす黄金の卵を産み出す新たな挑戦をしてください。常に新たな取り組みやイノベーションを意識してください。そのためには、良いアイデアが出てきたらまず実行してみる姿勢が大切です。私は「やってみる精神」を積極的にサポートします。検討ばかりに時間をかけるのではなく、リスクを見極めた上で、情熱を持って挑戦してみればよいと思います。そのために部門長が課題の優先順位を決め、それをチームで共有して取り組むことで、社内の推進力をもっと強化させましょう。そして広く社会により良い変化を与えるアイデアを、強い実行力で世の中へ送り出すadprojectパワーをさらに進化させましょう。

江戸切子を体験してきました!
阪本 崇裕 (第1プロジェクト)

『すみだ江戸切子館』で江戸切子の体験をしてきました。江戸切子は、1830年から1844年頃に南蛮人により持込まれた海外のガラス製品に切子細工を施したのがはじまりといわれているようです。私も日本文化を継承すべくして切子体験をした結果が、右の写真です。店舗で売られていた商品と比較するまでもなく、プロの仕上げりとは程遠い完成度でした。回っているローラーにコップを押し当てて模様を付けていくのですが、これがなかなか難しい…。一緒に体験していた方々は、上手にできていて少し恥ずかしい思いをしてしまいました。次回はもっと簡単な模様を選んで、無難な作品に仕上げようと強く感じた体験でした。



弓狩 章裕

- Event : 新年
- Date : 2017年

新年あけましておめでとうございます。今年もまた新しい1年がはじまりました。昨年はたくさんの方と面白い仕事や制作を担当させて頂き大変勉強になりました。周りの人に恵まれているなど毎日感謝しております。今年もより一層、仕事もプライベートも頑張りつつ充実した1年を過ごしたいと思います。さて2016年を振り返ってみると、仕事の話ではないですが、新年早々に肺の病気を患い1週間ほどダウン……。この印象がとても強いです。入院はせず自然治療で完治できたのですが、新年を迎えたことで、この印象がフィードバックしてきました……。冬場は体調管理も難しく、特に病気にかりやすい季節でもあります。代表的なインフルエンザやノロウイルスなど厄介な病気も多いので、手洗・うがい・食事バランスなど、できる予防はしっかりとしつつ、年間を通して「健康第一」で過ごしていきたいです。そして今年の目標は「スキルアップ」。こちらは毎年の事ですが、現場での経験や知識の向上+αで資格習得にチャレンジしてみたいと思います。もともと建設関係からこちらの業界にきたので、専門的な知識は必要ないであろうと思っていましたが、そこが違うのがイベント業界。色々な人と知り合えたり、様々なジャンルの企業と仕事が出来たりと幅広く携わってける業界です。ということで前職の際に残念ながら不合格となってしまった1級建築施工管理技士を再度受験しようかなと……。昨年内心、受験しようとは思っていましたが、気づけば申し込み期限を過ぎてしまっていたので、今年は忘れることなく申し込みをしたいです。その他にも過去に断念 or 不合格になってしまった資格にもチャレンジできればと思います。そんなこんなで、「健康第一」と「スキルアップ」の2つを目標に頑張っていきたいと思いますので、皆様、本年もよろしくお願致します!!



PRODUCER : 岩下 信而

- Event : エンターテイメントなワイン
- Date : 2016 New Year's Eve
- Place : 某スポンサールーム

“What Are You Doing New Year's Eve?” という1947年にリリースされたスタンダードナンバーがあります。「ちょっと気が早いけど、思い切って言います。大晦日の夜はどうしていますか(ぼくと一緒に過ごしませんか)…」といった歌詞から、クリスマスソングとして広く知られており、エラ、ロッド、カーペンターズ、ハリウッド・ブックスなどの数々の名演があります。ぼくが印象深いのは、名作TVドラマ、元祖アヒル口「アリー・マクビール」シリーズで、愛をうまく表現できない男女たちが、イブの夜、別々にボストンの街をさまよっている際のBGMとして効果的に使われていました。さあ、ここからが本題。皆さんは、このニューイヤーズイブはどうお過ごしでしたか? ぼくは大晦日の夜、ワインボトルにサラララップを巻いていました。「キュルキュル」(映像を巻き戻す音) ぼくが20年以上続けて担当している、ニューイヤーズイベントの運営のため、出張先で前夜祭や本番の段取りを終えた12月29日、スポンサーのトップの方から銘柄指定で希少なワインを多数手配する指示が入り大慌て。ぼくの全国の酒飲み人脈を駆使して、大晦日の夜ギリギリに入手。しかし、お客様がそれを楽しむのは、元旦のお屠蘇。冷蔵庫を使わず、白ワインを飲み頃にするよう、どぶ付け方式の「氷水でキンキン大作戦」を執行するため、ラベルを傷めないよう、ワインボトルにサララップを巻いていました。その苦労の甲斐あってか、お客様方はワインに舌鼓、よいイベントになりました。今回手配した数万円もする重たいボルドーや、入手困難なワイナリーのシャルドネ等の中から、数千円で楽しめるエンターテイメントワインをご紹介します。「マリリン・メルロー」。マリリンモンロー財団が、毎年モンローの誕生日6月1日に発売する。コレクター垂涎の希少品。カリフォルニアメルローの代表的産地ナパ・バレーの中でも高品質の葡萄を用いています。スティングがトスカナに所有するワイナリー産で、2016年にイタリアンパーワンの評価を受けた「シスター・ムーン」。そのほかにも「メッセージ・イン・ア・ボトル」「ホエン・ウィ・ダンス」スティングの名曲の名を付けられたオーガニックやピオワインの数々…。映画好き、ロック好き、ワイン好きはぜひお試しください。では次号、Ciao!!



マリリン・メルロー
ギョー界オヤジに
人気NO1でした

我らキュービー顔のカリスマ
スティングの農園「イル・パラジオ」

Project 4.